

番 号
令和 6年 6月26日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県佐賀市唐人二丁目5番25号TOJINシェアオフィス
団 体 名 特定非営利活動法人さが市民活動サポートセンター
代表者職・氏名 理事長 西岡明樂
電 話 番 号 080-9102-9746

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和5年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

—

令和5年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

1 団 体 名 : 特定非営利活動法人 さが市民活動サポートセンター

2 事業実施期間 : 令和5年4月1日 から 令和6年3月31日

3 事業の背景（※事業計画書から転記）

<p>■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像</p> <p>佐賀子ども食堂では、「孤食」や「心の貧困」の問題を解決しながら、地域の子どもたちを育てることに取り組んでいます。2023年6月で8年目を迎え、小さい頃から通っていた子どもたちが小学生になり、好き嫌いが減って食べられるものが増えるなど、子どもたちの成長と一緒に見られることに喜びを感じています。この活動は、食品や野菜を提供してくださる支援者様や、一緒に頑張ってくれるボランティアの皆様のご協力があってこそ続けられています。しかし、まだ多くの課題があります。たくさんの子どもたちが参加してくれるのは嬉しいことですが、責任も伴います。限られた人数のボランティアでは、どうしても目が届かないことがあり、怪我や物損のリスクを完全になくすことは難しいのです。</p> <p>そうした怪我や物損に対してボランティアや保護者の方々が不安を感じることがあり、そのために活動が続けられなくなる可能性もあります。私たちは、運営側も参加する側も安心できる「子ども食堂」を作りたいと考えています。子どもたちの行動が思わぬ結果を招くこともあります。そんな時でも安心して「また来月も楽しみにしています」と言ってもらえるような、誰もが安心できる仕組みを作りたいのです。</p> <p>さらに、食品を提供する際の食中毒などのリスクも不安です。正しく安全に提供するために、ボランティアの方々にも正しい知識を身につけてもらいたいです。そして、次世代のボランティアリーダーも育成していきたいと考えています。</p>

4 事業の成果

<p>①県民の便益にどのようにつながったのか</p> <p>「佐賀子ども食堂」は、「孤食」や「心の貧困」の問題解決を目指しながら、地域の子どもたちを育てたいという思いから始まりました。子ども食堂が子どもも大人も一緒に食べられる「地域の公民館」のような存在になることで、年配の方や学生など多世代と一緒に子どもを育てる場所を目指しています。</p> <p>コロナ禍で会食が中止となり、人と人との交流が希薄になる中でも、私たちは月に一回のお弁当配布を続けました。受け渡しの際に直接言葉を交わすことで、子ども同士や親同士、ボランティアの方々とのネットワークが生まれ、第三者に話を聞いてもらえる大切な時間と場所を提供してきました。</p> <p>このように、コロナ禍でもコミュニケーションを大切にしてきたからこそ、アフターコロナの今でも人と人との関係性がしっかりとつながっています。これからも、運営側、参加する子どもたちや親御さん、そして関わるボランティアの方々が安心して続けられる大切な場所を作り続けていきます。引き続き取り組んでいきます。</p>
<p>②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）</p>

5 寄附金活用事業実績 : (別記1)

6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)

7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業 (GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載)

事業名	具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位: 円]	うち寄附金 活用額 [単位: 円]
佐賀子ども食堂	①誰もが安心安全な「子ども食堂」の仕組みを作り、地域のコミュニケーションを目指す ②佐賀県内在住者 ③毎月1回子ども食堂を開催し、ボランティアコーディネート、物品寄付および金銭寄付の受入れ対応を行った。食品衛生管理の内部研修を行った。「第7回九州沖縄の子ども食堂がつながる研修会」に参加した。	①令和4年(2022年)4月1日から令和5年(2023年)3月31日 ②佐賀県内	514,439	514,439
計			514,439	514,439

(別記2) 次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

事業名	具体的な事業内容 (予定) ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所 (見込み)	事業費の 支出見込み額 [単位: 円]	うち寄附金 活用見込み額 [単位: 円]
佐賀子ども食堂	①誰もが安心安全な「子ども食堂」の仕組みを作り、地域のコミュニケーションを目指す ②佐賀県内在住者 ③毎月1回子ども食堂を開催し、ボランティアコーディネート、物品寄付および金銭寄付の受入れ対応を行う。食品衛生管理の内部研修を行う。「九州沖縄の子ども食堂がつながる研修会」に参加する。	①毎月19日 ②佐賀市勸興公民館	534,872	534,872
計			534,872	534,872

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		1,191,036
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	401,242
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	382,350
	前年度控除額(県事務経費)還付分	18,892
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	789,794

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		656,164
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	514,439
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	141,725
	返礼品等の調達に係る費用	128,725
	返礼品等の送付に係る費用	13,000
	広報に係る費用	0
	事務に係る費用	0

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)	534,872
-------------------------------------	----------------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://fields.canpan.info/organization/detail/1035571445#all>